

「まちに開かれた芸術文化拠点」を目指す京橋彩区が開催する芸術文化講座。2022年3月(第27回)は日本伝統芸能 落語と紙切りです。落語家の三遊亭志う歌さんと紙切りの林家楽一さんをお迎えし、解説と実演を行って頂きます。

< 2022年3月(第27回) >

日本伝統芸能 落語と紙切り

落語は江戸時代の人たちの日常を描いた芸ですが、今の時代を生きる人間にとっても多くの「気付き」があり、現代人の「虎の巻」になり得るかもしれません。紙切りでは鉄調べ(お題を貰わずに創作)でいくつかの作品を切り抜いた後、「どんなお題でも応えられるの?」などの疑問にも即興で紙を切り抜きお応えします。本講座では落語と紙切りそれぞれのルーツ解説と実演により、みなさまに日本の伝統芸能の世界を楽しんで頂きたいと思えます。

日 時： 2022年3月16日(水) 18:30～20:00

会 場： 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
「オンライン講座」としてYouTubeにて配信します。

参加料： 無料

申込方法： Peatix (<https://peatix.com/event/3135726>)

右上のリンクボタン(またはQRコード)よりお申し込みください。

▶ お申し込み(Peatix)



※今後の状況により、延期・中止をさせて頂く場合もございますので、あらかじめご承知置きください。

< 講師 >



三遊亭志う歌氏(落語家)

1982年東京生まれ。2004年に三遊亭歌武蔵へ入門、2005年には前座名「歌ぶと」、2008年から二つ目「歌太郎(4代目)」として活動。2020年には真打に昇進し「志う歌」と改める。2017年にはNHK新人落語大賞で大賞を受賞している。



林家楽一氏(紙切り)

1980年神奈川県横浜生まれ。2001年に三代目林家正楽へ入門、2008年に初高座。2015年に落語協会に入会。能、狂言、歌舞伎など伝統芸能、世界の名所旧跡から話題のスポーツ、アニメキャラクターなど多岐にわたるお題に応え即興で紙を切り抜く紙切り芸人。